

職業レディネス・テスト(VRT)

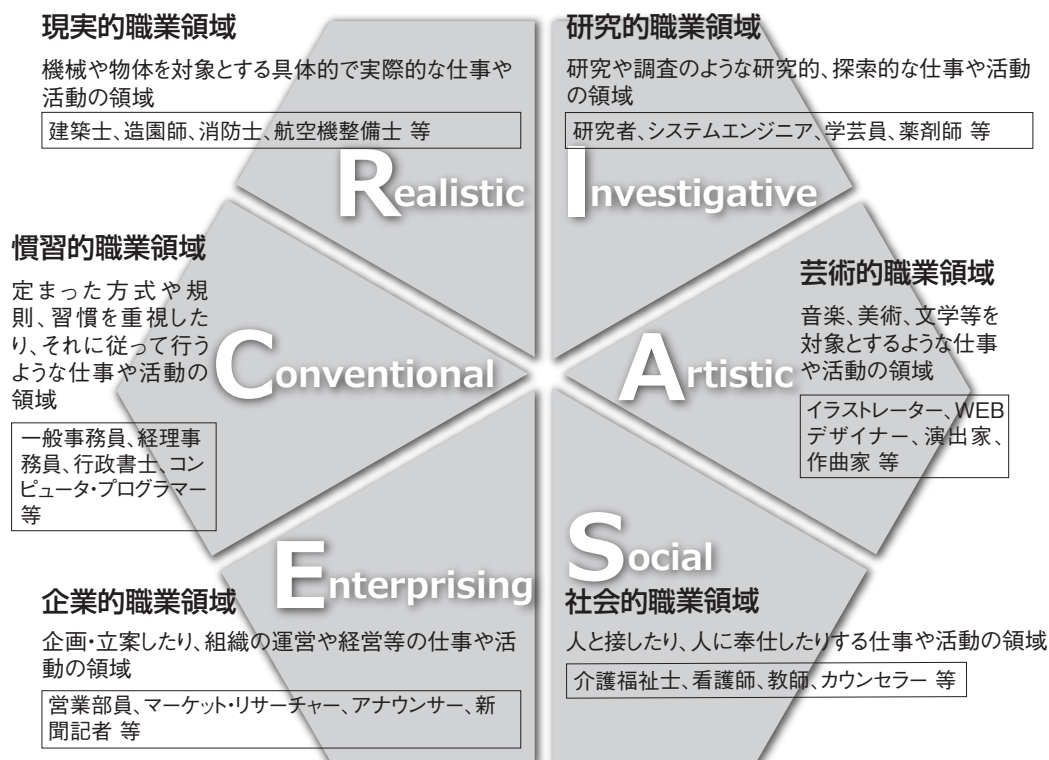


- A検査・・・職業に対する興味の傾向
- B検査・・・職業への興味・関心の基礎となる志向性
- C検査・・・職業に対する自信の傾向

職業レディネス・テストはA、B、Cの3つの検査から構成されています。

A検査およびC検査では、アメリカの心理学者J.L. ホランドによって類型化された**6つの職業領域**（現実的、研究的、芸術的、社会的、企業的、慣習的）への興味度・自信度がわかります。B検査では、**基礎的志向性**（対情報、対人、対物）への関心度がわかります。また、興味・関心を生かすことのできる具体的な職業例を知ること、職業探索につなげます。

A、B、C検査とも、標準得点としてパーセンタイル順位（例えばA検査では100人を興味の低いほうから並べた場合の順位）が用いられています。



- D 対情報志向**
各種の知識、情報、概念などを取り扱うことに対する志向性
- D1** 情報を集める
 - D2** 好奇心を満たす
 - D3** 情報を活用する

- P 対人志向**
主として人に直接かかわっていくような活動に対する志向性
- P1** 自分を表現する
 - P2** みんなと行動する
 - P3** 人の役にたつ

- T 対物志向**
直接、機械や道具、装置などのいわゆる物を取り扱うことに対する志向性
- T1** 物をつくる
 - T2** 自然に親しむ